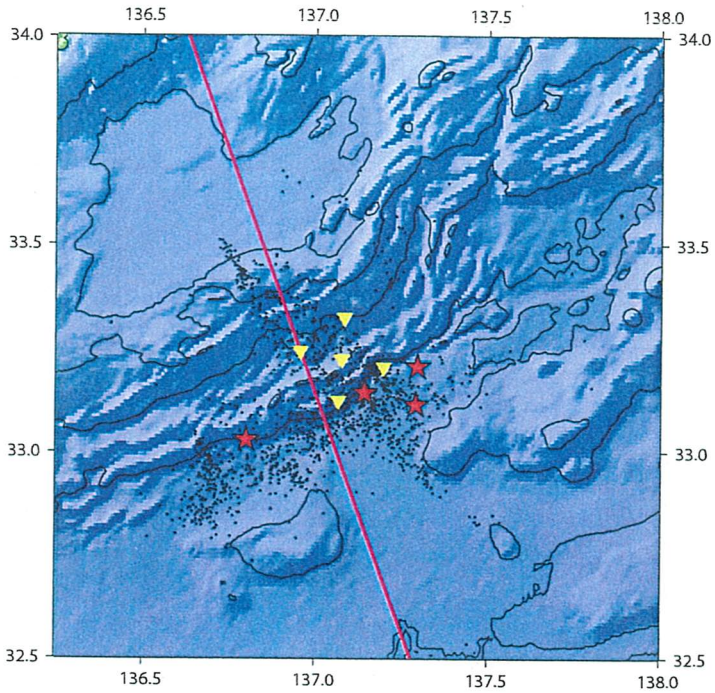
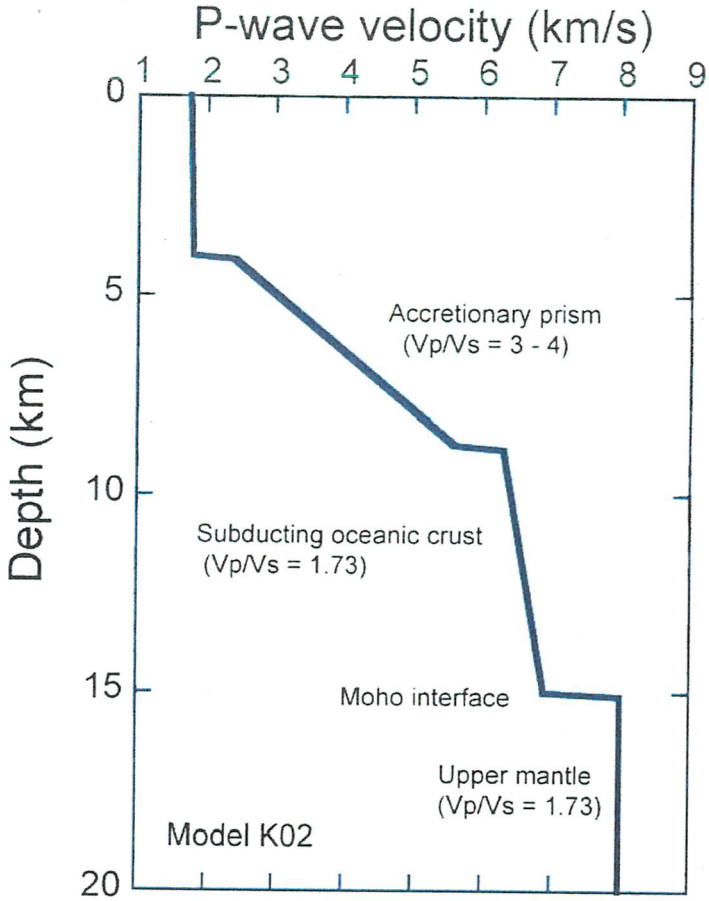
人工地震探査による速度構造と余震分布

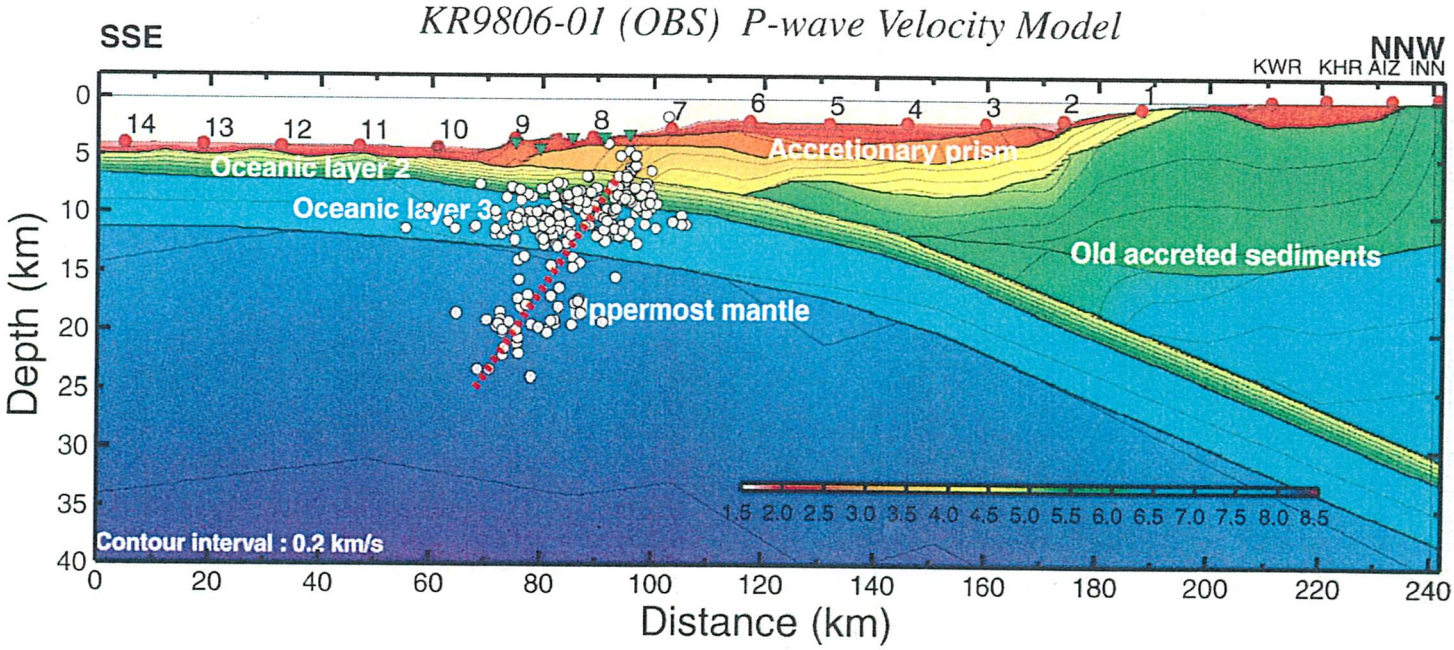
「新世紀重点研究創世プラン（東南海・南海地震に関する調査研究）」による



—：人工地震探査測線、▼：海底地震計、
★：本震と主な余震



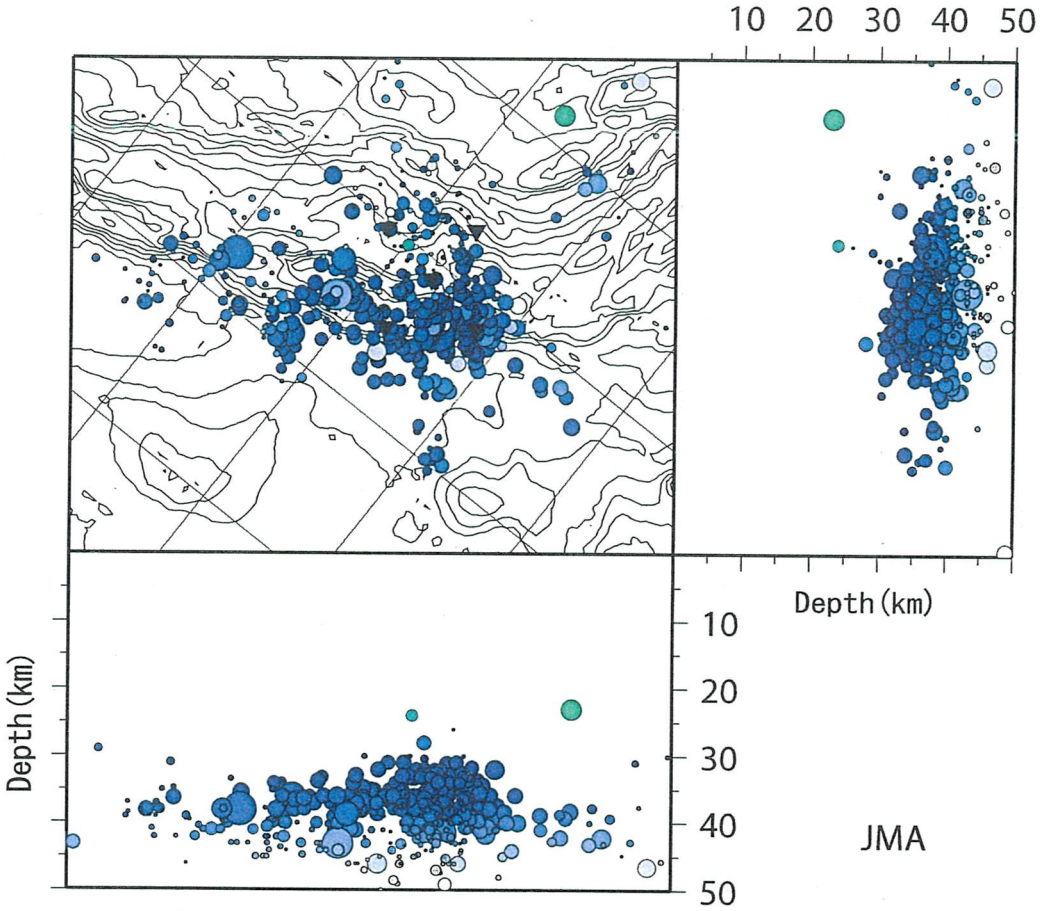
震源決定に用いた速度構造



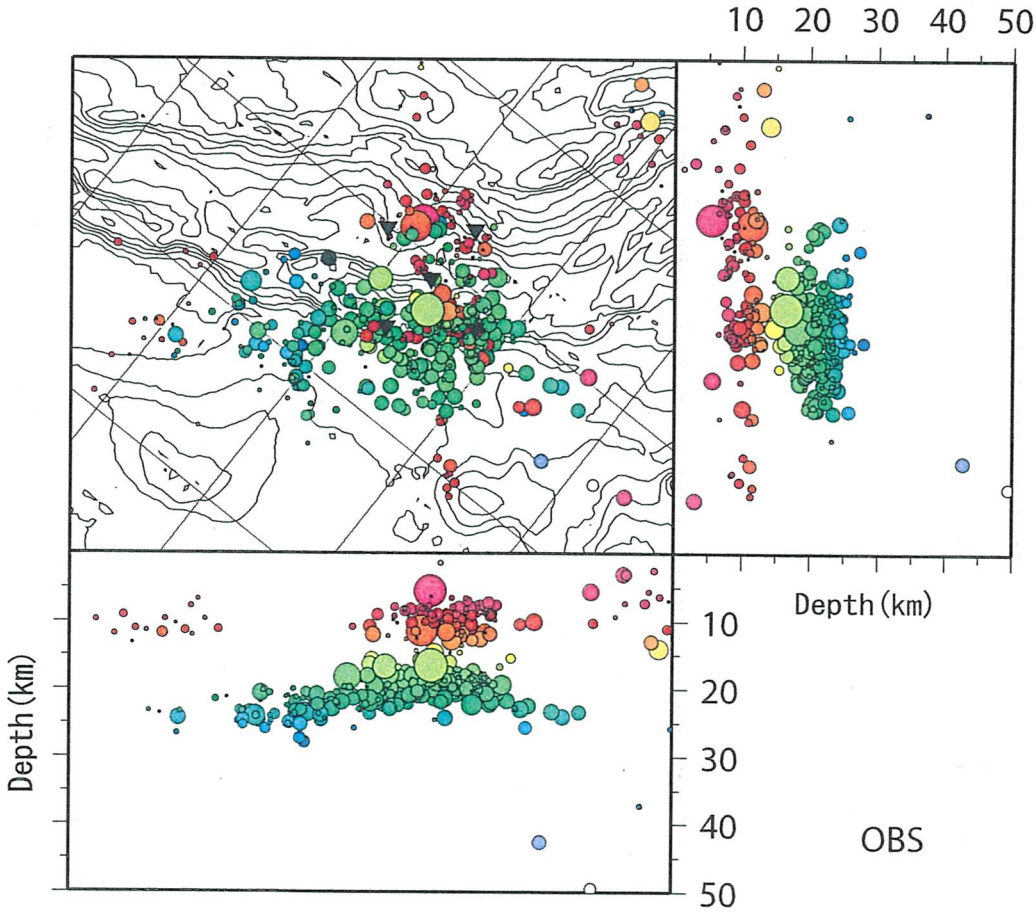
人工地震探査による速度構造断面（Nakanishi et al., 2002,）と震源分布（海底地震計）9月8日17時～23時57分（最大余震発生まで）。水平精度1km以下、深さ精度3km以下のもの。縦横比は2:1であるため、図の波線の傾斜は約30度である。

東京大学地震研究所資料

海底地震計による余震分布と気象庁一元化震源



北から西へ40度回転させた震源分布（気象庁一元化震源）



北から西へ40度回転させた震源分布（海底地震計）

東京大学地震研究所資料